

ニュースレター24号【防災学術連携体】2019/11/15

台風第15号による強風災害、第19号および10月25日の豪雨により広い範囲で河川の氾濫が相次いだほか、土砂災害、浸水害、家屋の破損等甚大な被害が広域で発生しました。お亡くなりになられた方へ深い哀悼の意を表しますとともに、被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。かさねて、被災地の一日も早い復旧・復興を願っております。

防災学術連携体では、地球温暖化の影響などで気候が変動し、大型化する台風、記録的な豪雨や豪雪、早魃、竜巻などの災害外力に注視し、高まる災害外力から国土と生命を守るために、学術フォーラムやシンポジウムを開催しつつ、学会間の連携を深め、防災減災・災害復興に関わる諸課題に取り組む所存です。

防災学術連携体 代表幹事 米田雅子（慶應義塾大学特任教授、日本学術会議会員）

代表幹事 古谷誠章（早稲田大学教授、日本建築学会前会長）

日本学術会議公開シンポジウム「令和元年台風第19号に関する緊急報告会」



日時：令和元年12月24日（火）13：00～17：30

会場：日本学術会議講堂

主催：日本学術会議 防災減災学術連携委員会、土木工学・建築学委員会、防災学術連携体

参加費：無料

申込み：事前申込みはこちら→<https://ws.formzu.net/fgen/S80663404/>

趣旨：日本学術会議と防災学術連携体では、この秋の台風や大雨による災害のうち、主として「令和元年台風第19号」の災害を対象とし、地球温暖化と共に激化する気象災害の軽減に取り組むための緊急報告会を開催します。緊急報告会では、「令和元年台風第19号」に関する各学会の調査結果を共有し、学会間の情報交流を進め、今後の対策を総合的に議論します。

※プログラムは決まり次第、防災学術連携体ホームページに掲載いたします。

日本学術会議公開シンポジウム・第9回防災学術連携シンポジウム「低頻度巨大災害を考える」

日時：令和2年3月18日（水） 12：30～17：30 / 会場：日本学術会議講堂 / 主催：日本学術会議 防災減災学術連携委員会 防災学術連携体 / 参加費：無料

趣旨：低頻度巨大災害を引き起こす極端な事象の発生の可能性を、現在までに得られている科学的知見に基づき、理学系各分野の専門家より解説していただき、これらが社会に及ぼす影響について工学系、および人文・社会科学系の各分野の専門家より発表していただき、これらをもとに、今後の学術分野における低頻度巨大災害に対する取組みの方向性を議論します。

※プログラムは、日本学術会議の正式な手続きを終えた後、防災学術連携体ホームページに掲載いたします。

第25回日本災害医学会総会・学術集会「これでいいのか、災害医療！」

主催：日本災害医学会 / 日時：令和2年2月20日（木）～22日（土） / 場所：神戸国際会議場・神戸商工会議所・アリストンホテル神戸

*21日午後、防災学術連携体との合同セッション「これでいいのか、災害情報の活用！」が企画されています。

日本地球惑星科学連合2020年大会

日時：令和2年5月24日（日）～28日（木） / 場所：千葉県千葉市 幕張メッセおよび東京ベイ幕張ホール

※令和2年5月24日午後、防災学術連携体との共同企画「変化する気候下での強風災害にどう取り組むか」が行われます。

日本学術会議公開シンポジウム/第8回防災学術連携シンポジウム/第4回防災推進国民大会2019セッション

「あなたが知りたい防災科学の最前線 —激化する気象災害に備える—」Q&A

2019年10月19日に開催されたシンポジウム終了後に質問用紙にて寄せられましたご質問に答える [Q&Aのページ](#) を公開しました。

防災学術連携体幹事・事務局長

田村和夫（日本学術会議連携会員）

小野寺篤（日本建築学会 事務局長代理） 防災学術連携体事務局

website@janet-dr.com

担当：麓 絵理子（フモト エリコ）、小野口弘美（オノグチ ヒロミ）

・ニュースレターの配信依頼、配信解除もここにご連絡下さい